

第2回ワークショップアンケート結果(2010.06.17、ワークショップ参加者21名の回答あり)

回答者の属性

年齢	性別	住まい
20歳以下	男性	港周辺
21～40歳	女性	港周辺以外の市内
41～60歳	不明	市外
61歳以上	総計	不明
総計		総計

Q1 どこでWSを知りましたか？

広報	1
インターネット	2
人づて	4
四日市港管理組合から	14
不明	0
総計	21

Q2 参加したきっかけは？

四日市港を愛しているから	8
楽しそうだったから	2
誘われたから	11
イヤイヤ	0
不明	0
総計	21

Q3 参加を継続する動機は？(MA)

四日市港を愛しているから	7
楽しいから	2
再確認・発見があるから	14
イヤイヤ	0
その他	1
総計	13

Q4 WSに参加した感想は？(MA)

楽しかった	3
勉強になった	10
新しい発見があった	10
つまらなかった	0
その他	3
不明	1
総計	27

Q6 次回もWSに参加したいですか？

ぜひ参加したい	7
都合があれば参加したい	14
出来れば参加したくない	0
絶対参加したくない	0
総計	21

Q4 その他

このWSが何を目的にしているのか？マップ作成のみ？
回を重ねるごとの目に見えた発展が感じられないので、残念である。

Q5 今後のワークショップへの希望、分からない事等ご自由に

過去にも多くのMAPが作成されています。一度集めてみてはいかがですか？なぜ活用されないのか？同じものを再び作成しても…

四日市市総合計画等、今後の四日市市の発展を目指す中核、企画と具体的にリンクして行って欲しい。

提案アイテムが一つでも実現すればいいなと思う。金のかからないものから採用すれば励みになる。

財政出動の裏打ちは何如に？

住む、働く、憩う、以上3グループに分離したら。

華やかな横浜港と違い、重工業の重圧感に包まれた四日市港独自の雰囲気華やかさを失って欲しくない。

事前に議題などが分かれば意見を持って、情報を準備して臨める。

山車のことが複数の班で話題にあがっていました。文化財としての扱だけでなく、それを支える財力を持った町衆(稲葉家、熊澤家等)を含めたまちのパワーにも意識を向けていただければ幸いです。対極にあるのが①商店街(5年以上前。店舗配置図をHPに載せたまま)、②ゴミの浮かんだ運河。市民力はまちづくりの基本です。

四日市の街並や港へのPR活動にも参加できますか？

知名度UP、集客力強化につながる取組ができるように回を重ねられたらいいと思います。幅広い世代、性別の方の意見を集約する必要があります。中高生、地元で働くOLなどの意見が入ってこない。

これまでになかった特色あるマップを期待。